

第120回みよしグリーンサポート隊活動報告

1. 日時 2021.10.24（日）午前9時～11時30分
2. 場所 C地区、E地区
3. 参加者：19名（役場3名含む）

10月第3日曜日が雨の為、1週間ずらしての活動になり、参加者がいつもより少なくなりました。今回は120回目となり記念すべき活動日になりました。足掛け12年継続していて、ボランティア参加の方々に感謝いたします。

町制50周年の記念号に載せて頂くとの事となり、参加者全員での記念写真を広報担当者の方に撮影して頂きました。みよしのいいところがテーマで、グリーンサポート隊からは「みよしの森と緑を次世代に」と載せて頂きます。過去活動のデータもお渡ししましたので、喜べる記事にまとめて頂きます。

○10月24日（日）定例の活動

参加者全員で軽く準備体操を行い、必要な道具、熊手、結束紐、ビニール袋、ノコギリを各人持ち作業開始です。

今回は、参加者を2班に分けて、1班はカシノナガキクイムシ被害木の処理作業。もう1班の方にE地区の刈り取った下草を集める作業と、枯れた枝、折れた枝を集めて紐で結束し通路に出す作業、不法投棄されたゴミ拾い作業を行いました。



E地区の刈り取った下草を集めて林内数か所に集積しました。落ちた枝を1mの長さに揃えて紐で結束し集めました。敷地内の不法投棄されたゴミを、燃えるゴミ、空き缶、ペットボトル、不燃ごみに分別し回収しました。

集めた枝などはトラックへ積み込みして後日環境センターへ搬出しました。



※ カシノナガキクイムシ被害木へのビニールシート巻き作業を行いました。

この作業は被害木の根元を事前に油圧シャベルで掘り下げて、薬剤散布を行い、殺虫し、根元にビニール袋を巻き付けます。その上はビニールシートを幹に巻き付けガムテープで固定します。来年の春先にカシノナガキクイムシが飛び出さない為の処置で、これ以上の拡大を阻止する大事な作業です。今回は12本の作業が完了しました。

カシノナガキクイムシ被害で枯れてしまったクヌギ・コナラが5本あります。この被害木は伐倒木処理が必要で、倒した後直ぐに搬出する段取りが必要です。トラスト協会にて検討して頂きます。



川越県農林センターからのボランティア補助金の交付が有り、保管用テント、枝などを運ぶ台車2台、堆肥場補強用の鉄パイプなどを購入させて頂きました。

○10月27日（水）除伐隊の活動

出席3名役場2名。曇り時々雨。

今回は、カシノナガキクイムシ被害木に薬剤散布とビニールシートを巻く作業を行いました。トラスト協会から三好事務局様他、3名の方と合同作業です、15本の作業が完了しました。



○11月・12月の予定

11月は、有志で堆肥置き場の拡張作業を実施予定です。

- ・堆肥置き場用に竹を調達し、組み立て、倒壊防止補強工事を実施予定。
- ・カシノナガキクイムシ被害で多量の樹木を伐採したので、その結果出来た空間に植樹を予定しています。

12月は1月の落ち葉掃き本番に向けて林内の整備仕上げ活動を実施予定です。

次回の活動日は11月21日（日）トラスト地で実施予定。